



文武両輪

～勉強も行事も部活動も～

令和5年 7月21日

【文責】校長 蔦川 誠

挑戦する夏休みにしよう！

今日で一学期が終了します。今こうして、皆さんが元気な姿で一学期を終えることができたことが、私は何よりもうれしいです。

一学期を振り返ると、授業や行事、部活動などを通して、皆さんが一生懸命に取り組む姿が見られ、立派だったと思います。

なかでも市中体夏季大会では、3つの団体優勝を獲得するという、ここ10年もの長い間でできなかったことを3年生を中心に成し遂げたことは、本当に素晴らしいことでした。長者中の歴史に残る快挙と言えます。文武両輪の武の花を、見事に咲かせてくれました。

さて、夏休みを迎えるにあたって、興味深いお話を皆さんに紹介します。

いきなりですが、生物の中で最もジャンプ力のある生物は何だと思いませんか？

それは「ノミ」です。

ノミは体長1～9mm（ミリ）の小さな昆虫です。後ろ脚がとても発達していて、なんと体長の約60倍ジャンプできるのだそうです。体長が5mm（ミリ）なら $5 \times 60 = 300$ （ミリ）、30cm（センチ）ジャンプできることになります。もしも人間にノミと同じくらいのジャンプ力があるとすれば、身長1m（メートル）50cm（センチ）の中学生なら90m（メートル）もジャンプできることになります。ノミのジャンプ力の凄さが分かります。

さて、そのノミを透明なビーカーに入れて、透明なガラス板でフタをします。ノミはフタがあることが分からないので、ジャンプしてはぶつかるということを繰り返します。やがてノミは、ガラス板の少し下までしかジャンプしなくなるそうです。思いっきりジャンプするたびにぶつかって痛い思いをするのですから、ノミなりに学習するのです。

では、ガラス板を取り外すとどうなるでしょうか？

結果は、ガラス板を取り外しても変わらないそうです。

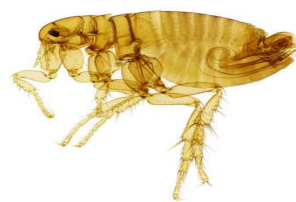
ノミのジャンプ力がなくなったわけではありません。ノミが自分の能力をすべて使わずに、少ししか跳ばなくなったのです。

このお話は、自分の可能性に限界を設けてはいけないという例えで用いられています。ノミを自分に当てはめた時に、ジャンプ力は自分の能力や可能性、ガラス板は「自分はできない」というネガティブな考え方です。

今までに、「頑張ってみたけれども、よい結果が出なかったので諦めてしまった」という経験はないでしょうか？もしかしたら、あと10回あるいはあと5回でも頑張ってみたら、できていたかもしれません。別な方法で取り組んでみたら、成功していたかもしれません。

また、最初から「私にはできない、無理」といって挑戦しなかった経験はありませんか？もしかして、やってみたら簡単にできていたかもしれません。

人は「できない」「無理だ」と思った瞬間に、努力を怠ってしまい、成長が止まってしまうのだそうです。だから、自分は「できる」と自分の可能性を信じて、挑戦することが大切だということです。お話にあるようなガラス板を取り外して、大きくジャンプしてみましょ。皆さんには伸びしろがたくさんあり、挑戦することによって大きく成長することができます。



500 μm

明日からの33日間の長い夏休み、学習でも部活動でも挑戦すべきことは、たくさんあります。受検勉強でも部活動の練習でも、あるいは読書などの自分のやりたかったことでも、何かに挑戦してみましょう。

皆さんが挑戦する夏休みを過ごして、一回り成長した姿を期待しています。

各学年の代表生徒の“振り返り”を紹介します。

1年1組 若宮 太志

入学式からの4カ月を振り返って、一番頑張ったことは学年委員長としての仕事です。一学年目標の「みんなで協力して明るい学年にする」に沿って学年朝会などでいろいろなレクを行い、一学年全員が協力して活動することができました。合唱コンクールでは、各学級が練習した成果を歌に込めることで、美しいハーモニーをつくり出しました。二学期には体育祭や文化祭などがありますが、初めての行事でも成功させることができるよう全力で取り組んでいきます。勉強と部活動を両立できる二学期にしたいと思います。

2年2組 太田 理香子

私が二年生になって成長したことは二つあります。一つ目は代議員となって計画性が身に付いたことです。代議員として学年朝会の計画を何回か立てているうちに、ちょうどよい時間配分ができるようになりました。二つ目は夏季大会で先輩たちをサポートする力が付いたことです。三年生のやる気を強く感じていた私が先輩のためにできることは、サポートと応援でした。私は帰りの会が終わったら少しでも早く部活動の準備に努めました。他の二年生や一年生も一緒に準備してくれました。この経験を通して、私のサポート力はアップしてチームの絆も深まってきました。これから夏休みでは規則正しい生活を送るための計画性を、二学期では学年全体で協力する力を上げるためにサポート力を大切にしていきたいです。

3年1組 高山 朝陽

一学期は、クラス替えによって様々なことが新しくなっていく「始まりの学期」でした。最初は不安な気持ちもありましたが、そのうちに学級の団結も深まり、最高学年という肩書にも慣れ、楽しく生活できるようになりました。夏季大会では最後の大会ということもあり、みんなが練習の成果を発揮できたことにより、団体三種目優勝という輝かしい成績を残すことができました。修学旅行は久しぶりに東京に行けるということで旅行前からテンションが上がっていました。修学旅行も団結力の向上につながり最高の思い出をつくることができました。合唱コンクールではどの学級も練習から真剣に取り組んで互いに指摘し合うことで、本番ではすばらしい歌声を披露することができました。一学期に三学年が一番成長できたところは、生活にメリハリがついたことです。二学期も悔いを残さずに生活できるよう取り組んでいきます。

(一部抜粋・修正、注は筆者)

